

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福  
 コード番号 2058 URL http://www.k-higashimaru.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 紘一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 木通 昌生 (TEL) 099-273-3859  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	6,280	8.8	416	15.6	436	9.0	230	4.3
27年3月期第2四半期	5,773	12.3	360	44.0	400	44.3	220	△17.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 215百万円( 0.5%) 27年3月期第2四半期 214百万円(△20.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	48.91	—
27年3月期第2四半期	46.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	12,047	5,827	48.4
27年3月期	11,415	5,653	49.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 5,827百万円 27年3月期 5,653百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,839	11.4	575	1.2	594	△8.6	267	△23.4	56.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	4,746,000株	27年3月期	4,746,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	40,889株	27年3月期	40,889株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	4,705,111株	27年3月期2Q	4,705,111株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ、「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種政策等の下支え効果や大企業の収益改善が進んだことなどにより、雇用・所得環境の改善はみられるものの、円安進行に伴う輸入品の価格上昇や新興国経済の成長が減速していることなどを背景に、景気は足踏み状態で先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループを取り巻く事業環境は、主原料（魚粉・小麦粉・大豆等）の価格は高止まり状態で推移しているほか、消費者の節約・低価格志向は根強く、企業間の価格競争が続く厳しい環境で推移いたしました。

こうした環境の下、当社グループは市場動向を見極めながら積極的な販売活動を展開するとともに、材料コスト上昇分を販売価格に転嫁するなど、売上成長を模索しながら利益水準の維持・向上に取り組んでまいりました。

一方、事業領域の拡充や販路拡大など攻めの体制を推し進めるなか、平成26年11月に子会社化した永屋水産株式会社（東京都中央区）の業績が通期計上となりました。また、水産事業のさらなる伸長を図るため、平成27年8月に永屋水産株式会社において、奄美クormaエビ株式会社（鹿児島県奄美市）を子会社化（当社の孫会社）いたしました。なお、奄美クormaエビ株式会社は、当第2四半期連結会計期間末（平成27年9月30日）を支配獲得日とみなして処理しているため、同社の損益業績は当第2四半期連結累計期間に含まれておりません。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は62億80百万円と前年同期と比べ5億6百万円（8.8%）の増収、営業利益は4億16百万円と前年同期と比べ56百万円（15.6%）の増益、経常利益は4億36百万円と前年同期と比べ36百万円（9.0%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億30百万円と前年同期と比べ9百万円（4.3%）の増益となりました。

なお、養魚用配合飼料の需要は、養殖魚の成長過程に応じ、摂餌が旺盛になる夏から初冬までが多く、水温が低下し餌食いが鈍くなる冬から春は少なくなるという季節的変動があります。したがって、当第2四半期連結会計期間の売上高及び売上原価は、第1四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間と比べ増加する傾向にあります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①水産事業

水産事業におきましては、中南米の輸入魚粉マーケットは、順調な漁模様で魚粉相場安含みの値動きにあるものの、最需要国である中国や欧州の需要は堅調であることから高値基調を維持しており、今後の相場見通しは需給バランス次第という見方が強く不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、魚粉原料価格高騰分を販売価格に転嫁し、本年4月からエビ類及び魚類用の配合飼料の値上げを実施いたしました。これにより、生餌の相場が値頃感にあったことから、粉末配合飼料（モイスト飼料）の販売は順調に売り上げを伸ばし前年同期を上回ったものの、エビ類及び魚類飼料の販売は、台風や長梅雨の天候不順から低水温で養殖魚の餌食も鈍く、また、梅雨明け後に全国的な赤潮の発生から一時餌止め実施となったことなどから、値上げ前の前期販売分消化遅れの影響（反動減）等を受け前年同期を下回りました。

一方、子会社のマリンテック株式会社（愛知県田原市）は、水産初期飼料の販売は振るわなかったものの、水産種苗の生産・販売が順調に推移したことから増収となりました。また、平成26年11月に子会社化した永屋水産株式会社の、マダイ・カンパチを主とした活魚及び配合飼料の販売が当期から寄与しております。

その結果、売上高は42億49百万円と前年同期と比べ3億35百万円（8.6%）の増収となりました。セグメント利益は4億5百万円と前年同期と比べ22百万円（5.9%）の増益となりました。

## ②食品事業

食品事業におきましては、雇用・所得環境の改善などを背景に、個人消費は力強さに欠けるものの緩やかな回復基調にあります。百貨店では富裕層を中心に高額商品の販売は堅調な動きにある反面、最寄品（日用品や食料品等）については、消費者の節約・低価格志向が根強く、企業間の価格競争が続く厳しい事業環境で推移いたしました。

このような状況のなか、原材料、燃料及び物流費等に係るコストが年々増加している影響から、本年4月、自社ブランド商品の販売価格の値上げを実施いたしました。これにより、そうめん類は、長梅雨の影響もあって販売は伸びず前年同期を下回ったものの、主力商品の皿うどん類及び即席めん類が値上げ効果のほかPB商品（販売店独自の商品）企画提案や新規ルート顧客開拓で順調に推移し前年同期を上回りました。

一方、子会社のコスモ食品株式会社（横浜市磯子区）は、カレールー・シチュールー商品を中心に定番導入が進み、また、株式会社向井珍味堂（大阪市平野区）も、穀粉類（きな粉等）及び香辛料類の販売が順調に推移し、前年同期を上回りました。

その結果、売上高は20億30百万円と前年同期と比べ1億71百万円（9.2%）の増収となりました。セグメント利益は1億88百万円と前年同期と比べ55百万円（41.4%）の増益となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ6億31百万円増加し、120億47百万円となりました。これは、主として現金及び預金が4億90百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が6億5百万円、のれんが3億28百万円、有形固定資産のその他が1億44百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ4億58百万円増加し、62億20百万円となりました。これは、主として短期借入金2億93百万円減少しましたが、買掛金が5億35百万円、長期借入金1億88百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ1億73百万円増加し、58億27百万円となりました。これは、主として利益剰余金が1億87百万円増加したことなどによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月15日開示の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である永屋水産株式会社が発行済株式の全てを取得したことに伴い子会社となったため、連結の範囲に含めております。

なお、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末としているため、当第2四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,284,990	1,794,884
受取手形及び売掛金	1,720,370	2,325,849
有価証券	96,352	96,239
商品及び製品	427,179	465,629
仕掛品	99,588	120,076
原材料及び貯蔵品	1,110,048	1,096,957
その他	166,005	214,170
貸倒引当金	△12,303	△18,362
流動資産合計	5,892,231	6,095,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,177,451	1,182,525
機械装置及び運搬具(純額)	693,590	659,301
土地	2,091,642	2,091,763
その他(純額)	48,923	193,280
有形固定資産合計	4,011,607	4,126,870
無形固定資産		
のれん	444,954	773,388
その他	28,801	28,083
無形固定資産合計	473,756	801,471
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,078,821	1,064,315
貸倒引当金	△40,482	△40,482
投資その他の資産合計	1,038,339	1,023,833
固定資産合計	5,523,703	5,952,175
資産合計	11,415,934	12,047,620

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	792,883	1,328,614
短期借入金	1,990,100	1,696,576
未払法人税等	96,144	124,682
賞与引当金	116,463	124,898
その他	428,425	356,388
流動負債合計	3,424,016	3,631,160
固定負債		
長期借入金	1,683,450	1,871,475
役員退職慰労引当金	412,289	421,535
退職給付に係る負債	73,332	77,354
その他	169,115	218,734
固定負債合計	2,338,186	2,589,099
負債合計	5,762,203	6,220,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	4,513,585	4,701,347
自己株式	△28,968	△28,968
株主資本合計	5,546,916	5,734,678
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104,067	93,845
繰延ヘッジ損益	2,747	△1,163
その他の包括利益累計額合計	106,815	92,681
純資産合計	5,653,731	5,827,360
負債純資産合計	11,415,934	12,047,620

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,773,771	6,280,657
売上原価	4,543,139	4,871,021
売上総利益	1,230,632	1,409,636
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	179,176	195,093
貸倒引当金繰入額	5,057	4,649
給料及び賞与	225,830	226,904
賞与引当金繰入額	48,325	49,009
退職給付費用	10,424	11,080
役員退職慰労引当金繰入額	7,845	9,246
その他	393,672	497,040
販売費及び一般管理費合計	870,332	993,024
営業利益	360,300	416,612
営業外収益		
受取利息	269	494
受取配当金	2,573	3,166
為替差益	24,118	525
受取保険金	15,900	9,477
雑収入	14,245	19,550
営業外収益合計	57,107	33,213
営業外費用		
支払利息	14,532	11,542
雑損失	2,872	2,179
営業外費用合計	17,404	13,721
経常利益	400,002	436,104
特別利益		
投資有価証券売却益	-	18,165
特別利益合計	-	18,165
税金等調整前四半期純利益	400,002	454,269
法人税、住民税及び事業税	101,210	144,740
法人税等調整額	78,258	79,421
法人税等合計	179,468	224,161
四半期純利益	220,533	230,108
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	220,533	230,108

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	220,533	230,108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,373	△10,222
繰延ヘッジ損益	△31,071	△3,911
その他の包括利益合計	△5,697	△14,133
四半期包括利益	214,836	215,974
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	214,836	215,974
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	400,002	454,269
減価償却費	142,782	143,878
のれん償却額	24,077	39,312
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17,570	3,892
賞与引当金の増減額(△は減少)	14,183	8,434
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,145	9,246
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,976	4,021
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	-	△18,165
受取利息及び受取配当金	△2,842	△3,660
支払利息	14,532	11,542
為替差損益(△は益)	△30,666	1,181
売上債権の増減額(△は増加)	△988,434	△626,497
たな卸資産の増減額(△は増加)	151,671	△26,280
仕入債務の増減額(△は減少)	680,084	397,799
未払消費税等の増減額(△は減少)	65,329	△75,065
その他	△95,324	△66,205
小計	367,947	257,704
利息及び配当金の受取額	2,847	3,430
利息の支払額	△12,117	△11,428
法人税等の還付額	584	860
法人税等の支払額	△137,023	△118,215
営業活動によるキャッシュ・フロー	222,236	132,351
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△894,827	△371,186
定期預金の払戻による収入	938,319	266,143
有形固定資産の取得による支出	△121,051	△218,711
有形固定資産の売却による収入	55	27
無形固定資産の取得による支出	△5,927	△2,357
投資有価証券の取得による支出	△5,224	△35,357
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,650	37,480
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△2,105
その他	△16,574	△23,510
投資活動によるキャッシュ・フロー	△103,580	△349,577
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	245,000	△410,000
長期借入れによる収入	-	400,000
長期借入金の返済による支出	△314,346	△323,233
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,273	△1,273
配当金の支払額	△33,413	△42,345
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,033	△376,852
現金及び現金同等物に係る換算差額	30,666	△1,181
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	45,289	△595,260
現金及び現金同等物の期首残高	1,696,220	1,924,379
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,741,509	1,329,118

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,914,326	1,859,445	5,773,771	—	5,773,771
セグメント利益	383,217	133,214	516,431	△116,428	400,002

(注) 1 セグメント利益の調整額△116,428千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費137,181千円、営業外収益29,454千円、営業外費用8,701千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	4,249,665	2,030,991	6,280,657	—	6,280,657
セグメント利益	405,674	188,380	594,055	△157,951	436,104

(注) 1 セグメント利益の調整額△157,951千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費154,677千円、営業外収益4,648千円、営業外費用7,922千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「水産事業」セグメントにおいて、奄美クルマエビ株式会社の全株式を取得したことにより、新たに連結の範囲に含めております。これによりこのれんが367,746千円発生しております。